





# 地域の寺子屋

## 久本小、東高津小、坂戸小 中学校区の小学校3校にそろいました!

「地域の寺子屋」は、2014(平成26)年に始まった福田・川崎市長肝いりの事業です。  
「地域の寺子屋」は、地域の団体に運営していただき、学校施設を活用して、学習支援や体験活動を実施します。

学校の授業でもなく、塾でもない場。地域のおじさん、おばさん、おじいちゃん、おばあちゃん、そしておにいさんやおねえさん、地域の様々な方の知識や経験を活かした、多世代で学ぶ場でもあります。

みんなで勉強していろいろな体験をする場。そのような場所を子どもたちに提供することで、子どもも大人もみんなが楽しく学び、遊び、話をし、つながれることを目指しています。

地域の寺子屋について、詳しくは川崎市教育委員会のホームページをご覧ください。 <https://www.city.kawasaki.jp/880/category/10-14-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

教育委員会の「寺子屋」のリーフレット

地域の寺子屋について、詳しくは川崎市教育委員会のホームページをご覧ください。 <https://www.city.kawasaki.jp/880/category/10-14-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



校庭は狭いです。コロナ禍による運動機会の減少は学校の課題。SELFによる走り方教室や逆上がり教室などの企画に期待するところがあつたようです。

また、寺子屋SAKADOは、以前より元PTA役員からやりたいね、という話が出ていたそうです。

寺子屋先生やプロスポーツチーム、そして地元の企業など、「地域を巻き込んでつないでいくのが

ダブルタッチ(久本小学校)  
私も数年前、寺子屋ひさもとで地域安全マップ作成講座の講師をしたことを思い出しました。子どもチームと親のチームで同じ場所をフィールドワークし、どちらのチームが作った地域安全マップがより適切なものになつたかを競う形となり、面白かったなあと思い起こしました。

### 寺子屋の先へ

「学校教育カリキュラムにないことを体験できるのが寺子屋。子どもたちや講師、ボランティアも含め、地域の中での関係性が深まっているのを感じている」と、鈴木事務局長。



走り方教室(末長小学校)

話をしていると、今後の公立学校のコミュニティ・スクール化のこと、学校の働き方改革を踏まえた教師の負担軽減を考慮した部活動の適切な指導体制について、休日の部活動を地域人材で担うことなど、寺子屋を超えてあちらこちらに話題が広がりました。

### 【編集後記】

運営してくれる人がいて初めて成り立つ事業が「地域の寺子屋」です。保護者やPTA、住民ら数人の実行委員会で運営するケースもあります。中学校区の地域教育会議が運営しているところもあります。

一昨年、東高津小で、昨年、坂戸小でも始まりました。このタイミングで「わかあゆ」での広報をさせていただきました。

(企画・編集 角田 仁)



鈴木事務局長と藤迫さん

SELFの「地域の寺子屋事業」は、鈴木事務局長と藤迫さんがコルが開催されました。その日は、川崎を拠点とするプロバスケットチーム「川崎ブレイブサンダース」のユーススタッフが指導するジュニアバスケットスク

迫明子さんを、3月8日、事業を行っていた富士通ゼネラル体育館に訪ねました。

### SELFの寺子屋事業

「デイネートし、地域のボランティアスタッフ(寺子屋先生)15名で運営しているとい

うことです。毎週1回、平日

の放課後に行っている学習支

援と、月1回、日曜日などに

親子や地域の人たちと活動

する体験学習がそのメニュー

です。学習支援は坂戸小が月

曜日、久本小と末長小が水

曜日ということなので、なか

なか忙しそうです。

多くの寺子屋の学習支援

は、学校から出された宿題

や寺子屋で用意したプリントなどを、寺子屋先生が見

てあげる形式が多いと思わ

れます。SELFの場合は「川

崎ブレイブサンダース」や地元の

企業女子チーム「富士通レッドウ

エーブ」によるバスケットボール教室

であつたり、「プロレスラーが教える

トレーニング術」、「カッコよく踊ろ

うHIPHOPダンス」など、月ご

とにテーマを決めてユニークな教

室を開講しています。SELFら

しいですね。

8年に渡る経験を持つ寺子屋

ひさもとは、寺子屋先生もベテラ

ンで、スポーツだけでなく、地域な

らではの文化系の内容も入れて

いるそうです。「写経」は好評で、

受講者を抽選にせざるを得なか

つたとのこと。

初年度の2014(平成26)年、モデル事業として市内8カ所で開講されました。そのひとつが久本小学校の寺子屋で、高津総合型スポーツクラブSELFが運営しています。その後、私たちの中学校区では寺子屋の開講がしばらくありませんでしたが、2020(令和2)年10月に「寺子屋ひがしたかつ」(東高津小学校)が、2021(令和3)年11月に「寺子屋SAKADO」(坂戸小学校)がスタートし、中学校区の3つの小学校に寺子屋が揃つことになります。

「寺子屋ひさもと」に続き「寺子屋SAKADO」の運営を担うSELFに話を伺いました。

※SELFは橋中学校区の末長小学校でも寺子屋を運営(2021年6月開講)しています。  
※「寺子屋ひがしたかつ」(東高津小学校)は一般社団法人ピッカが運営しています。



スナッグゴルフ(坂戸小学校)

## 東高津中学校区「おやじの会」 中学校中庭で芋畑づくり



集まったおやじの会メンバー(ご婦人方もいらっしゃいますが)

令和3年5月30日、中学校中庭の芋畑を耕し、さつまいもを植えました。令和2年はコロナで中止。今年もできないと2年連続の中止となり、芋畑が分かる先生方がいなくなってしまうのでは、との危機感から、「今年はやろう!」と、おやじたちが頑張りました。

学校におじやまするには久しぶり。校長先生・教頭先生も迎えてくれました。朝、8時集合で、お昼前まで楽しく作業。生徒たちも大活躍です。べにはるか

を植えました。



生徒も耕運機を運転してみました。



12月にPTAのOB会の懇親会マスク会食ノンアルコールがありました。無事収穫との報告をいただきました。

地域教育会議がめざすもの

・子どもがいきいき育つまち  
・おとなも楽しく学べるまち

「地域教育会議」と聞いても知らない方も多いと思います。  
名称が堅いこともあり、浸透しているとは言えないかもしれませんね。  
1980年代、校内暴力で荒れる学校や少年事件が多発。川崎市では地域からの教育改革をめざし「地域教育会議」が提案されました。  
地域と学校、行政が共に協力し、子どもがいきいき育つまちを作ろうというものです。  
そして、おとなも楽しく学べるまち、ひいてはあらゆる人々が共に生きる地域社会をめざします。  
地域教育会議は平成10年には7行政区、51中学校区すべてに設置されました。高津中学校区と東高津中学校区は、川崎市で唯一、2つの中学校区が合同で活動を行っています。今号では、「地域の寺子屋」を運営している総合型スポーツクラブSELFを取材しましたが、SELFもこの中学校区の地域教育会議の活動から生まれました。

〈企画・編集 角田〉

